

トータルイズム(全体主義) としてのグローバリズム Globalism as Totalitarianism

京都大学大学院教授

京都大学レジリエンス研究ユニット長

内閣官房参与

藤井聡

Professor, Kyoto University

Director, Kyoto University Resilience Research Unit

Special Adviser to the Cabinet, Japan

Satoshi Fujii

グローバル資本主義を**超える**ために....

For “**Beyond**” global capitalism....

まずは.....

「グローバル資本主義」

(=「国境」の意義を低下させた上で展開する資本主義)

とは、一体何なのかを、

しっかりと**理解**しなければならない。

グローバル資本主義の帰結

Consequences of global capitalism

- 経済の不安定化

(金融経済における急激なマネー集中と散逸)

(実体経済における慢性的なデフレ化)

- 「格差」の「拡大と固定」

(例: 国家間, 大vs中小企業, グローバルvs地域企業, 資本家vs労働者等)

→ 貧困の深刻化 → 人々の不満蓄積 → 政治的不安定化

- 「危機」のグローバル化

- 「金銭」の影響力増進と、それ以外の価値の衰退

(=ニヒリズム／虚無主義の蔓延)

→ 長期的合理性の衰弱＝社会の脆弱化 (僅かな危機で深刻な事態に)

→ 民主主義の衰弱／国民国家の解体

→ 文化, 美德, 伝統, 倫理の蒸発＝文化・文明の低俗化 等

グローバル資本主義の起源

origin of global capitalism

人類の福祉にとって、
これだけ大きな「問題／デメリット」をもたらしている
グローバル資本主義は、
なぜかくも進展してきたのか．．．？

本発表で、この考察のために援用するコンセプト

「全体主義」 Totalitarianism

by ハンナ・アーレント (Hannah Arendt)

ハンナ・アーレント Hannah Arendt

ユダヤ系ドイツ人(1906~1975)
政治哲学者
主著『全体主義の起源』『イエルサレムのアイヒマン』

2012年に彼女の「イエルサレムのアイヒマン」を巡る思想・哲学, 言論活動を描いた映画「ハンナ・アーレント」が公開されている(日本では, 文字通り, 今, 公開中!)



全体主義とは何か？

What is Totalitarianism?

【定義】

〈個〉に対する〈全体〉の優位を

徹底的に追求しようとする**思想・運動・体制**改訂新版 世界大百科事典(平凡社)より

【用例】

イタリアのファシズム, ドイツのナチズム, ソビエトのスターリン体制の基本的な特質を表現する概念として活用

【代表著作】

『大衆の国家』(エミール・レーデラー 1940),

『大衆国家と独裁』(シグマンド・ノイマン 1941),

『全体主義の起源』(ハンナアーレント 1951) 等

ハンナアレントが示唆する「全体主義」の特徴

Characteristics of totalitarianism according to Hannah Arendt

- 単なる思想ではなく、それに基づく**運動／体制／社会現象**を含意
- 思想の「内容」は問わない。どんなものでも**任意**に選ばれる。
 - 様々な「**社会的な俗情**」(嫉妬, 貪欲, 恐怖心 等)に基づいて選定
 - その後, その俗情を隠蔽するために,
 - 「**ご都合主義的**」な理屈が(無意識的に)「**ねつ造**」されたり,
 - 「**ご都合主義的**」なイデオロギー・理論が(無意識的に)選ばれ,
喧伝／プロパガンダに活用される
 - (必然的に)論理的, 倫理的な**一貫性が不在**となる
 - (必然的に)人々は「**思考停止**」
 - (必然的に)「**凡庸な人々**」は, 様々な工夫を重ねながら,
悪の凡庸さ 真面目に, より効率的に全体主義を敷衍していく

(ご参考)

“本当の悪は、
平凡な人間が行う悪です。
これを、悪の凡庸さと名付けました“



映画「ハンナ・アーレント」のメインメッセージ

message from movie of "Hannah Arendt"

ハンナアレントが示唆する「全体主義」の特徴

Characteristics of totalitarianism according to Hannah Arendt

- 単なる思想ではなく、それに基づく**運動／体制／社会現象**を含意
- 思想の「内容」は問わない。どんなものでも**任意**に選ばれる。
 - 様々な「**社会的な俗情**」(嫉妬, 貪欲, 恐怖心 等)に基づいて選定
 - その後, その俗情を隠蔽するために,
 - 「**ご都合主義的**」な理屈が(無意識的に)「ねつ造」されたり,
 - 「**ご都合主義的**」なイデオロギー・理論が(無意識的に)選ばれ,
喧伝／プロパガンダに活用される
 - (必然的に)論理的, 倫理的な**一貫性が不在**となる
 - (必然的に)人々は「**思考停止**」
 - (必然的に)「**凡庸な人々**」は, 様々な工夫を重ねながら,
悪の凡庸さ **真面目に**, より効率的に全体主義を敷衍していく
 - (必然的に)「**思考する人々**」(=体制外の人々)は**圧殺**されていく
 - (必然的に)**破滅的な帰結**をもたらす.

例) ナチスにおける全体主義

example) totalitarianism in Nazi

<p>全体主義をつくった 社会的な俗情</p> <p>Inドイツ</p>	<p>(貪欲) “過剰供給”の処理＝資本家の強欲(→帝国主義) (虚栄) 一部の人々の名誉欲 (恐怖) 反ナチズムへの弾圧に対する恐怖 (存在論的不安／ルサンチマン) 社会崩壊によって アトム化した“大衆”が、自らの居場所を 与える“全体主義”を希求</p>
<p>プロパガンダに 活用された理論</p>	<p>人種差別, 選民思想(血の論理)</p>
<p>悪をなした 凡庸な人々</p>	<p>思考停止した, ナチス支持の一般人々 思考停止し, 粛々と命令に従う真面目な官僚達(例: アイヒマン)</p>
<p>圧殺される人々</p>	<p>ユダヤ人, 反ナチスト</p>
<p>破滅的な帰結</p>	<p>欧州における大量の死者, 数々の街・風土の破壊 祖国ドイツそのものの自滅 → 東西分断</p>

つまり...

「全体主義」理論とは、

政治経済学的
歴史学的
社会学的、
社会心理学的.....

な、**社会科学の解釈論**である。

「グローバルイズム」についての

「全体主義」分析

「社会科学的解釈」

を行うと....

Totalitarianism-analysis (= social-scientific interpretation) of
globalism shows....

現代のグローバリズムにおける全体主義

totalitarianism in globalism

全体主義をつくった
社会的な俗情

In 1%の
勝者集団

(貪欲) “過剰供給”の処理 = 資本家の強欲 (→新帝国主義)
(虚栄) 一部の人々 (政治家, 経済学者, エコノミスト) の名誉欲
(恐怖) 反グローバリズムに対する抑圧に対する恐怖
(存在論不安 / ルサンチマン) 社会崩壊によって
アトム化した先進国の高学歴or資本家の“大衆”が、
自らの居場所を与える“全体主義”を希求

プロパガンダに
活用された理論

(新自由主義的) 経済理論 (マネタリズム含む)
ブラッセル (EU) ウォール街 (USA) 霞ヶ関・丸の内 (日本) 等の選民思想 (エリート主義)

悪をなした
凡庸な人々

思考停止した, グローバリズム支持の (悪しき) 一般エリート層
思考停止し, 粛々と命令に従う真面目な官僚達

圧殺される人々

格差社会の弱者側 (途上国, 非グローバル企業 & 農家, 労働者等)
反グローバリスト

破滅的な帰結

弱者側における貧困と大量の死者, 数々の街・風土の破壊
世界中の国民の祖国そのものの解体

つまり...

今日の「グローバリズム」は、

世界全体の「勝者集団」が互いに結託した社会

(ジョセフ・スティグリッツが言う「1%」の集団)

において進行する

- ・「敗者集団」(各国, 法人内に存在: 99%集団)からの「搾取構造」を持ち、
- ・彼等の「存在論的不安」を隠蔽し、
- ・それらのために、新古典派経済学とエリート主義を利用する、

「全体主義」に他ならないのである。

おわりに ～グローバル資本主義を**超える**ために～ for “beyond” global capitalism...

- ①グローバル資本主義／グローバリズムの支配の進行は、世界に強烈な“破壊”をもたらす。
- ②その流れについての総合的な社会科学分析に基づけば、
「**グローバル化全体主義 globalization totalitarianism**」
の存在が浮かび上がる。
- ③したがって、その処方箋は、「**既往の全体主義対策の議論**」が大いに参照できる。
 - (1)まずは「**1%の勝者達**による“全体主義”運動の存在」を知るべし
 - (2)そして、その崩壊には「**外部からの力**」が不可欠な事を知るべし
(『全体主義の起源』より)
 - (3)かくして「**99%の弱者達**」による、各々の伝統文化を背景とした
「**国民主義nationalism**」と、
「**国際主義internationalism**」で**対抗**すべし。